

山形県在宅医療推進

フォーラム2024

参加無料
定員200名

共に生きる

～在宅医療が描く持続可能な地域づくり～

2024.11.4(月・祝)

9:00～16:20 (8:30開場)

会場:山形国際交流プラザ 山形ビックウィング2F交流サロン

【第一部】特別講演（一般市民公開） 9:00～

座長:訪問診療クリニックやまがた

奥山 慎一郎先生

9:10～10:20

●演題「地域の中で医療従事者ができること」

おい在宅緩和ケアクリニック院長

大井 裕子先生

10:30～11:40

●演題「ケアするまちをデザインするー社会的処方の実践」

一般社団法人ケアと暮らしの編集社

守本 陽一先生

12:50～14:00

●演題「地域みんながつながる健康まちづくり

～持続可能なまちのために～

まちづくり系医師・医学博士（福井大学）井階 友貴先生

【第二部】医療・介護・障害支援従事者向け 14:10～

14:10-16:10

テーマ:「〇〇もあるワークショップ

～その人らしい暮らしを支える“繋がり”を探る～」

ワークショップブース

・独居看取りを可能にする連携

・MSWからみた退院支援

・相談支援専門員としての意思決定支援

・退院からのスムーズな在宅移行例

※休憩時間は11:40-12:50です。会場内での飲食も可能です。

昼食は各自ご用意頂きますよう、お願い致します。



演者プロフィール

●大井 裕子先生

おおい在宅緩和ケアクリニック 院長
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
臨床教授 広島大学医学部 客員教授
NPO法人 くみサポ 共同代表理事

1992年広島大学医学部卒業後、広島大学原爆放射線医科学研究所腫瘍外科、安佐市民病院、広島三菱病院で勤務。2000年から呉市安浦町国保診療所で地域医療に従事。2006年より桜町病院ホスピス医長としてがん患者の終末期ケアに従事。2009年オーストラリアの緩和ケア研修を修了。2018年4月在宅診療部を立ち上げがん患者の看取りまでの訪問診療を開始。

2023年2月より小金井ファミリークリニック勤務し、2024年8月1日よりおおい在宅緩和ケアクリニック院長 人生の最期に誰もが直面する食べられない状況においても、本人の希望に添った食べる支援やそれをサポートする家族の支援に力を入れている。



●守本 陽一先生

一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事

1993年、兵庫県養父市出身。医師。学生時代から医療者が屋台を引いて街中を練り歩くYATAI CAFE(モバイル屋台de健康カフェ)や地域診断といったケアとまちづくりに関する活動を兵庫県但馬地域で行う。2020年11月に、一般社団法人ケアと暮らしの編集社を設立。医師として働く傍ら、社会的処方 の拠点として、商店街の空き店舗を改修し、シェア型図書館、本と暮らしのあるところだいかい文庫をオープンし、運営している。まちづくり功労者国土交通大臣表彰受賞。共著に「ケアとまちづくり、ときどきアート(中外医学社)」「社会的処方(学芸出版社)」など。厚生労働省「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業審査会」構成員。



●井階 友貴先生

まちづくり系医師・医学博士(福井大学)

福井大学医学部地域プライマリケア講座

(高浜町国民健康保険和田診療所/JCHO若狭高浜病院) 教授

1980年兵庫県丹波篠山市生まれ。滋賀医科大学卒業後、2008年より福井県高浜町に赴任、09年から福井大学医学部の教員として高浜町マスコットキャラクター「赤ふん坊や」と共に地域医療、医学教育、健康のまちづくりに邁進。18年より同講座教授。14年～15年ハーバード公衆衛生大学院客員研究員、15年より高浜町健康のまちづくりプロデューサーを兼務。自他共に認める「まちづくり系医師」。総務省「地域力創造アドバイザー」。



山形国際交流プラザ(山形ビッグウィング) 2F交流サロン

住所:山形県山形市平久保100

主催:山形県在宅推進フォーラム2024実行委員会

共催:一般社団法人 全国在宅療養支援医協会

公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団

事務局/お問合せ:023-616-6360

担当:五十嵐・佐藤(訪問クリニックやまがた内)

※当会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の事業の一環として行っております。

こちらのQRコードより
お申し込みください
締め切り10月31日(木)

医療・介護・福祉関係者



一般市民

